

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

平成26年 6月 28日

兵庫県知事 殿

提出者

住 所 東京都新宿区西新宿2-6-1
新宿住友ビル34F

氏 名 株式会社アキュラホーム
代表取締役 宮沢 俊哉

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

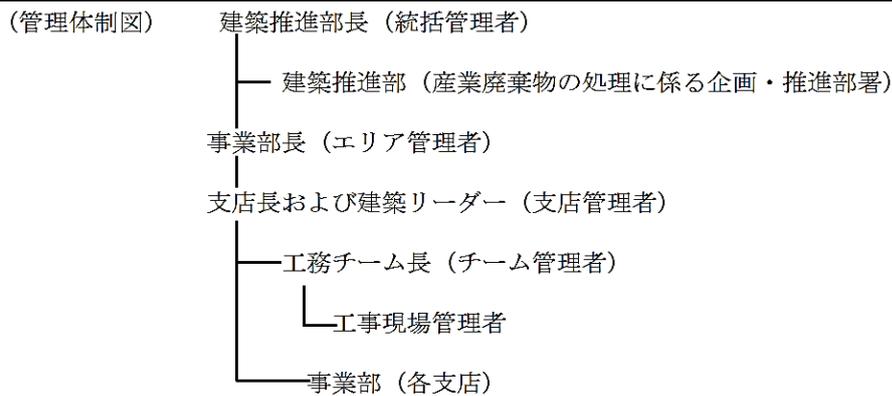
電話番号 03-6302-5001（代）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社アキュラホーム ①大阪支店 株式会社アキュラホーム ②兵庫支店
事業場の所在地	①大阪府大阪市淀川区宮原5丁目7番43 ②兵庫県姫路市北条宮の町385番 永井ビル6階
計画期間	平成26年4月1日から平成27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	平成25年4月～平成26年3月 大阪支店 完成工事高 293,827 （単位：万円） 兵庫支店 完成工事高 248,980 （単位：万円）
③従業員数	①大阪支店 46人 ②兵庫支店 41人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	【主な処理の工程】 ・廃プラスチック類 → 破碎/圧縮 → 再利用または安定型埋立 ・紙くず → 破碎/圧縮/焼却 → 再利用または管理型埋立 ・木くず → 破碎/焼却 → 再利用または管理型埋立 ・金属くず → 破碎 → 再利用 ・ガラスくず及び陶磁器くず → 破碎 → 再利用または安定型埋立 ・がれき類 → 破碎 → 再利用または安定型埋立 ※収集運搬および中間処分・最終処分を業者に委託

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (平成25年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	排出量	1940.922 t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	排出量	1840 t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

- ・包装材の簡素化
- ・実寸発注の実施 (木くず削減)
- ・余剰材の回収、再利用 (ガラスくず (石膏ボード) 等)
- ・余剰材の回収、再用品目の拡大
- ・実寸発注部材の品目の拡大

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	<ul style="list-style-type: none"> ・新築現場では現場毎および品目毎にて可能な限り分別 ・解体現場については、廃掃法の品目に準じて可能な限り分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	<ul style="list-style-type: none"> ・混合廃棄物の排出量を抑制する為に分別状況の確認体制を強化 (分別状況の写真提出 等)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 該当無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 該当無し		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組) 該当無し			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組) 該当無し			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 該当無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 該当無し		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	全処理委託量	1940.922 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	116.31 t	— t
	再生利用業者への処理委託量	1216.122 t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	— t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。 ・電子マニフェスト対応可能な処理業者への委託をおこなっている。 		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	1840.00 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	150 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1300 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・再生利用・熱回収が可能である廃棄物は、再生利用・熱回収ができる業者へ委託する。 ・可能な限り優良認定処理業者から選定する。 ・委託先処理業者には定期的に現地確認を実施する。 			
※事務処理欄			

(別紙) ※それぞれの欄で、記入欄の数が少ない等の理由で記入できなかった内容を記入

(第7面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物総発生量が500トン以上の事業場ごとに1枚作成すること
- 2 前年度の産業廃棄物総発生量が500トン未満であっても、資本金が4千万円以上の建設業を営むものであって、県内（奈良市を除く）で工事を行う事業者については、事業所を管理している支店、営業所または本社ごとに1枚作成すること
- 3 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 4 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 5 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、別紙に当該欄に記入すべき内容を記入すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

担当者 連絡先	所属	兵庫支店	職 ・ 氏 名	業務担当	電話	079-225-5033
收受印	※	備考	※		事業所 番号	※

※ 欄には何も記入しないこと

【別紙】産業廃棄物処理計画書

実施状況報告年度 平成25 年度

計画書作成年度 平成26 年度

氏名又は法人名	株式会社 アキュラホーム	報告担当者所属部署	兵庫支店
報告担当者名	業務担当	電話番号(直通)	079-225-5033

単位:t

番号	産業廃棄物の種類	実績値及び目標値	産業廃棄物の排出の抑制に関する事項(第2面)				産業廃棄物の再生利用に関する事項(第3面)				産業廃棄物の中間処理に関する事項(第3面～第4面)				産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項(第4面)				産業廃棄物の処理の委託に関する事項(第4面～第5面)				
			排出量	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	他者への処理委託量<自動計算>	処理委託先の内訳														
									優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者(廃棄物の再生利用を行う業者)への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量											
(1)	廃プラスチック	実績	173.61	0	0	0	0	173.61	0	49.66	0	0											
		目標	160	0	0	0	0	160	0	50	0	0											
(2)	紙くず	実績	74.76	0	0	0	0	74.76	0	56.4	0	0											
		目標	70	0	0	0	0	70	10	60	0	0											
(3)	木くず	実績	615.32	0	0	0	0	615.32	55.78	275.08	0	0											
		目標	600	0	0	0	0	600	60	280	0	0											
(4)	金属くず	実績	40.852	0	0	0	0	40.852	0	40.852	0	0											
		目標	40	0	0	0	0	40	0	40	0	0											
(5)	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器	実績	339.68	0	0	0	0	339.68	23.5	104.08	0	0											
		目標	300	0	0	0	0	300	30	200	0	0											
(6)	がれき類	実績	656.76	0	0	0	0	656.76	37.03	654.23	0	0											
		目標	640	0	0	0	0	640	40	640	0	0											
(7)	繊維くず	実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
		目標	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
(8)	建設系混合廃棄物	実績	36.73	0	0	0	0	36.73	0	35.82	0	0											
		目標	30	0	0	0	0	30	10	30	0	0											
(9)	石綿含有産業廃棄物	実績	3.21	0	0	0	0	3.21	0	0	0	0											
		目標	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
(10)		実績						0															
		目標						0															
(11)		実績						0															
		目標						0															
(12)		実績						0															
		目標						0															
(13)		実績						0															
		目標						0															
合計		実績	1940.922	0	0	0	0	1940.922	116.31	1216.122	0	0											
		目標	1840	0	0	0	0	1840	150	1300	0	0											